レッスン：SPA.NO.21

テーマ：イドロプラシー＆感覚

SPA.21.K6PYRJ13

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供たち。私たち常に主、絶対、主の聖性によって抱かれています。

真理の探究者にとって最も重要なワークは、前にも述べたようにいわゆるイドロプラシーであり、それはあらゆる人間がそうとは知らずにあらゆる瞬間に行っているものと（人間は無知のなかにいる間はそれを無意識的に行っています）同じです。その種のワークとは想念の結果としてのエレメンタルの創造であり、無数のエレメンタルがパーソナリティーによって創造されています。それらのエレメンタルはパーソナリティーが目を覚ましている間のみならず眠っている間も創造されていますが、私たちはそれらのエレメンタルを二つのカテゴリーに分類しています。最初のカテゴリーはいわゆる欲望的想念であり、二番目のカテゴリーは想念的欲望です。

それではイドロプラシーは人間が眠っている間に無意識に行うその種の現れと同じでしょうか？

人間はイドロプラシーをどのような感覚のために使っているのでしょうか？初めは五感を使いますが、この種のワークをマスターするために、探求者は徐々に五つの超感覚を使うようになります。私たちが「昔のその出来事を思い出す」と言うとき、どの感覚を使っているのでしょうか？五感ですか？様々な出来事において私たちは五感を使用しています。なぜなら、パーソナリティーが無知のなかにいる間は五感を使っているからです。ですから潜在意識への記録は五感の使用によってなされます。しかし、それらの出来事を記憶として現在に持ってくる時には、五感ではなく五つの超感覚を使います。ですから、今でもパーソナリティーは無意識的に五つの超感覚を常に使っているのです。

**ファンタジー、幻想とは何でしょう？それは汎宇宙的無意識に記録された出来事への同調であり、もし現れの背後にそのスパークがなければ、人間は何も表現することはできません。そしてパーソナリティーがそれらの出来事をどのように翻訳するかは別の問題です。それらの出来事の解釈、翻訳は気づき、思考・行動の仕方のフィルターを通じてなされます。そして前に述べたように、人間はファンタジーを表現するときには意識的にではなく無意識的に五つの超感覚を使っています。**

ですから、イドロプラシーのワークを通じてエーテルをマスターしようとすること、実際それは五つの超感覚を通じて自分自身を表現しようとする努力でもあるのです。五感の使用を通じて何が人間を（＊無知のなかに）取り込んでしまったのでしょうか？私たちが無知のなかに取り込まれていると言う時、何が人間に無知の中に入る“可能性”を与えたのでしょうか？

初めて下降したとき、前に述べたように、魂のセルフ・エピグノシスからの微細なスパークが実存の諸世界に入り、人間のイデア・フォームは形を帯び、現れとして人間は二つの体、現在のパーソナリティーを持つようになりました。しかし、全ての人間にとってそれは同じです。ノエティカル体とサイキカル体の現れは一つになっており、いわゆるサイコノエティカル体です。完全に形をとった美しい体で、人間のイデア・フォームと同一の形です。

サイコノエティカルな諸世界にいる人間は、五つの超感覚の使用を通じて、**生**の特質を完全に表現しています。そして五芒星は人間の聖性を示して上向きになっています。

Page 2

さて、人間が物質界に入ると、物質は意識に対して無知のなかへ、制限のなかへ入る可能性を与え、自動的に五芒星は下向きになり、今や私たちは五感を通じた表現となっています。このために私たちには一つのタイプの感覚だけではなくて二つあるのです。なぜなら、五つの超感覚ですら実際にはサイコノエティカル体の感覚なのですが、パーソナリティーがひとたび無知のなかに入るやいなや、その人の現れは五感の使用によるものとなるのです。人間の現れは自分を現す時、意識的にそうしています。そして五つの超感覚、サイコノエティカル体の感覚を人間は無意識的にのみ使用しています。しかし、真理の探究者はそれらの感覚はもっともっと意識的に使うようになり、そうすることは同時に現在のパーソナリティーの不定形な諸体を再形成することにも寄与しているのです。

さて、現在のパーソナリティーとしての私たちの目的は、現在のパーソナリティーの自己実現に到達することです。私たちの諸体をマスターするために、私たちは意識的に五つの超感覚を使用することになります。それが起きたとき、私たちはあるレベルの気づきを現すのでしょうか？私たちは再び五感を使用するのでしょうか？どう思いますか？私たちは転生のサイクルを背後に残して去るのでしょうか？最後の質問に対する答えはノーです。なぜなら、**転生のサイクルから出るということは生それ自体の諸世界、実存ではなくて存在の諸世界に入ることを意味するからです。**しかしパーソナリティーは自分自身のためにそうすることはせず、最後の人が自己実現のステートに到達するのを助けるために転生のサイクル内に留まるでしょう。

それでは、そのパーソナリティー、自己実現に到達したそのパーソナリティーはどのようにして助けるのでしょうか？そのパーソナリティーがもはや気づきの一つのレベル、ある思考・行動の仕方を表現しないとき、その人は生の特質をかなりの程度現すようになります。勿論、完全にではありませんが、かなり高いレベルで現します。その時、そのパーソナリティーは気づきのフィルターを使用するでしょうか？使います、しかし一つだけのフィルターではなく、もしそのパーソナリティーが他人を助ける場合には多くのフィルターを使います。そのパーソナリティーは超意識的に仕事に応じて自分のバイブレーションを下げます。他人を助けるために行う仕事に応じて。それはそのパーソナリティーがどのようなバイブレーションのなかに現れて仕事を行うか、によります。なぜでしょうか？助けようとする相手のバイブレーションに合わせて自分のバイブレーションを下げること、それが誰かを助けるための唯一の方法です。さもないと、相手はあなたを理解することができず、あなたを受け入れることができません。そうすることが唯一の方法です。

**自己実現に到達したパーソナリティーは他の誰かが行った結果を背負う時、原因・結果の法則を被るのでしょうか？どう思いますか？答えはイエスであり、相手の結果を被ります。それは他の誰かの苦しみを取るための唯一の方法です。あなたは沢山の小さな十字架、つまり同胞の人間たちの重荷を引き受けるのです。**しかし、それは超意識的に行われます。そのパーソナリティーは五つの超感覚の使用を通じて自分自身を現し、しかし同時に五感を通じて意識的にも現します。それによってそのパーソナリティーが他の人に理解され、受け入れられるようにです。他のやり方はありません。多くの人々はひとたびあなたがそのレベルに到達すれば、そのレベルに常に留まっている、と考えがちですが、そうではありません。もしあなたがそうするなら、あなたはそこに留まるに値しないことになります。自分は他の人々よりももっと重要な人間だなどと考えることなく、人々を助け、導くために人々のなかに入っていくのです。

さて、イドロプラシーはエレメンタルの創造と同じでしょうか？今真理の探究者がいわゆる想念的欲望のエレメンタルを創造することは可能でしょうか？というのも、そのエレメンタルは実際に光の奉仕者によって創造され、表現されるべきなのですから。真理の探究者がそのようなエレメンタルを表現することができるでしょうか？答えはイエスです。しかし、いつもではありません。一時的であっても十分です。なぜなら、あなたが想念的欲望のエレメンタルを創造する瞬間、あなたは誰かを助けるための天使を創造しているからです。

Page 3

どのようにしてそれが可能でしょうか？いわゆるイドロプラシーのワークをマスターすることによってです。あなたが練習すればするほど、それだけ多く五つの超感覚を通じて自分を現わすことができるようになり、想念的欲望のエレメンタルを創造することが可能となります。つまり、五つの超感覚をより意識的に使用することによってです。もしあなたが五つの超感覚を意識的に使用することができなければ、あなたは想念的欲望のエレメンタルを創造することは出来ず、欲望的想念のエレメンタルだけを創造することになります。今あなたの思考の中心は頭ではなくハートにありますが、一時的にでもあなたが頭のセンターを使うことができれば、その時初めてあなたは同胞の人々を助けるためにそのようなエレメンタル、天使を創造することが可能となります。

ですから、今あなたはこのイドロプラシーのワークがどれほど重要であるかがわかったと思います。あなたはエーテルの三つの特質、つまり運動、感覚、刻印エーテルをマスターするためにワークを行います。五感を使うことによって始めますが、結果は五つの超感覚の使用になります。多くのワークが必要です、おそらく何年、長年にわたるワークです。私は多くの転生とは言いたくありません。それはあなた次第です。

あるレベルの智慧に到達した人の多くは、肉体を軽視しがちです。しかし、そうするべきではありません。なぜなら、肉体ですら聖なるものであり、それは現在のパーソナリティーに、思考・行動の仕方に属するものではありません。それは**ロゴス的および聖霊的現れ**としての**聖なる現れ**によって、現在のパーソナリティーのために創造されたものだからです。私たちの肉体を作ったのは私たち自身ではありません、私たちの肉体は聖なるものであり、この肉体が存在するためにはその背後に**聖なるスパーク**が必要なのです。

この聖なるスパークとは何だと思いますか？**生**とは何でしょうか？**生**とは実際何なのでしょうか？意識の中心ですか？しかし、人間のイデアを通過した人間として、私たちにはロゴス的意識があります。ロゴス的意識というとき、そこには意識の他にもう一つの質があり、その質とは前にも述べたようにセルフ・エピグノシスと呼ばれるものです。セルフ・エピグノシスは意識に自己実現に到達する能力、多様性のなかにおいて自己実現したモナドになる能力を与えます。

それでは**生**についてはどうでしょうか？生全体、創造界のなかの全てに命を与える**生**のスパークです。以前のレッスンで、大海としての**生**はエーテル以外の何ものでもなく、またこのスパークなしでは何も形を帯びることはできず、これらの諸世界のなかで現在のパーソナリティーの諸体をはじめとして何も現れることはできない、と述べました。ですから、私たちの体が存在するためには、特に肉体が存在することができるのは、このエネルギーの海のなかで私たちの体が泳いでいるからです。食べ物を食べたり、飲み物を飲んだりして肉体を養うと考えがちですが、しかし実際には私たちが身体を養っているのではありません。そして実際、人間が五感の使用を通じて自分自身を現すとき、食べ物なしでも肉体を維持することができるのです。なぜなら、その時あなたはマインドのそれらのバイブレーションをエーテル・バイタリティーとしての生の海とつなぐことができるからです。

なぜ、今この肉体はそれとつながっていないのでしょうか？なぜ、今のところ私たちは食べ物や水なしでは肉体を保つことができないのでしょうか？なぜなら、**五感を使用している間、現在のパーソナリティーの諸体は不定形であり、五芒星は下向きなので、思考・行動の仕方が現在のパーソナリティーの現れである間は、肉体を維持するために食べ物が必要となります。そうです、思考・行動の仕方です。**なぜなら、あなたが自己実現したときには、それ以前と同じように思考・行動の仕方を表現することはしないからです。そうです、しかしまた私たちはそのパーソナリティーでさえも多くのフィルターを使う、と述べました！そうです、意識的に、また超意識的にそのパーソナリティーは超意識的に五つの超感覚を使用するのです。そうです、しかし自己実現したパーソナリティーが行う仕事に応じて、高度な達成が記憶としてはある期間ブロックされる時があります。自己実現したパーソナリティーが誕生しても、何年もそのパーソナリティーは自己実現した自分自身を表現しません。

それはあり得るのでしょうか？イエスです。それはこれらのバイブレーションのなかで助けるために自分自身を現すという意志以前に、そのパーソナリティーが何をするか、によります；そのパーソナリティーは未知の中に留まり、直前の転生において表現していたサイコノエティカルな成長のレベルのなかで自分自身を現わしていないかもしれません。そういうことはあり得ます。しかし、パーソナリティーが無知、逆さまのカンマにおける“無知”のなかに留まるということはありません。なぜなら、自己実現したパーソナリティーが一生涯その特定のパーソナリティーであることはあり得ません。その人が過去生で達成し、マスターしたものを完全に表現する時が来るからです。ですから、現在のパーソナリティーがやるべきことは沢山あります。

**質問**

質問：視覚化しようとするとき、三次元的に見るのですか？もう一つの質問は、第三の目でそれを見るのですか？

Ｋ：私たちは五感を使い、フォーカスし、比較し、そして自分の目の前に見えるものを潜在意識のなかに貯蔵します。そして五つの超感覚を使ってそれを表面に持ってくるのです。最初は意識的ではなく無意識的に行われますが、あなたが練習すればするほどエーテルの特質をそれだけマスターできるようになります。それはまた同時に不定形の諸体の再形成に向けたワークともなります。

覚えていると思いますが、真理の探究者として私たちはいわゆる自己省察、自己分析のワークを行うように奨励されています。そして、その後で自分の潜在意識に暗示の言葉を入れます。どのようにして暗示の言葉を入れますか？視覚化によってです。それについては既に説明しましたね。それもまた五つの超感覚を表現するためのワークとなります。なぜなら、それはその種のワークを通じての目的だからです。

啓発への唯一の道は、気づきの上昇に対するワークによりますと言う時、その種のワークとは何でしょうか？あなたの気づきのレベルを上昇させるためには、あなたの現在のパーソナリティーについてワークを行い、自分を無知の限界から解放する必要があります。それは五つの超感覚の使用を通じて自分自身を表現することを意味します。

質問：私たちがそれを達成した時、どのようにしてそれがわかるのでしょうか？五つの超感覚の使用を達成できた時には、その達成をどのようにして知ることができるのですか？

Ｋ：五つの超感覚の使用をもっと意識的にできるようになった時、それを直ちに認識できるでしょう。過去の出来事を意識的に自分の前に持ってくることができるようになり、徐々にもっともっと多くの出来事、その細かな点までを表面にもたらすことが可能となります。

さて、前の質問に完全に答えるためにはこのことをはっきりさせる必要がありますが、第三の目というとき、実際には第三の目などというものはありません。多くの人々は額の真ん中にもう一つの目があると考えていますが、そんなものはありません。五つの超感覚の使用を通じて自分を現わすことができるレベルに到達すると、無数の目があります。物質、超物質、あるいはサブスタンスの各原子が全て五つの超感覚を持ちます。物質と言うとき、そうです、物質さえもが意識的に完全に活性化されます。なぜなら、無知にある間は、前に述べたように、この肉体はエーテル活力としての**生**の海に完全にそれ自身をさらすことはできません。しかし、肉体の不定形な体の再形成によってそれが可能となると、肉体の物質的原子でさえもが五つの超感覚をもつようになります。そして一つの原子が見て、聴き、味を味わい、その他何でもできるようになります。

Page 5

質問：五つの超感覚を使用している人とまだその能力を得ていない人では、思考、像、想念のイドロプラシーはどのように違うのでしょうか？

Ｋ：イドロプラシー。まず、あなたが潜在意識に何かを貯えるためには五感を使います。しかし、それを表面に持ってくる時には五つの超感覚を使います。自己実現に到達した人の場合には、その人は五感を使いますが、五つの超感覚によって無意識的、意識的ではなく、超意識的に潜在意識に貯蔵します。貯蔵？それは同調ということであり、観察、比較ではありません。それは同調によって自動的に行われます。そのパーソナリティーがそれをやるかどうかは別の問題です。それをやるための理由が必要です。しかし、あなたが何もしなくても、何も観察しなくても、何かを知るために対象に同調しなくても、自己実現に達していればとても簡単なことです。以前のビジョンがなくても、潜在意識のなかに入り、その出来事を細かな点まで全て表面に持ってくるだけです。

質問：それは何かの出来事や人を再び持ってくる時ですが、私が述べているのは特定の目的のための像という形での想念的欲望についてです。私が知りたいことは、過去からの何かでないその種の創造における違いについてです。

Ｋ：あなたは能力とは何だと思いますか？違いは何でしょうか？自己実現に到達した人は動機、意図の結果として自分自身を表現することはせず、**生**の特質を完全に表現します。現在のパーソナリティーとして、その人は現在のパーソナリティーの素質的可能性を完全に表現します。それは完全にではありませんが魂のセルフ・エピグノシスの特質に非常に近いものです。創造される像は、それを創造したパーソナリティーの“能力”のなかに完全にあります。そこには“正しい思考”があり、それは絶対愛の現れです。

質問：啓発していない人でも誰かを助けようと努力し、どの動機は善いものであり、像を創造することができ、それに正しい色と意味を着せることができます。その場合には、どのように異なるのでしょうか？

Ｋ：その像には正しい思考があり、それは五つの超感覚の使用を意味します。あなたが想念的欲望のエレメンタルを創造しようとしますが、しかしそれはそれほど強くはありません。なぜなら、あなたはそれを超意識的に創ることができないからです。ある程度までそれは意識的に創られるからです。ですから、その像を動機も意図もない主の愛の真の現れと比較することはできません。

何回も述べてきましたが、霊的なヒーラー、あるいは不可視のヘルパーが助けるために像、エレメンタルを造るとき、実際その人は自分がそれを行っていると主張することはできません。それを創造しているのは絶対愛の仕事なのです。それは聖なるスパークです。そして真理の探究者が行っているのは内側から主を表現することであり、徐々にゆっくりと主のスパークを表現するのです。勿論、多くの違いがありますが、探求者がワークをすればするほど、その人はどんどん上に昇り、もっともっと意識的に五つの超感覚を使えるようになり、継続的に気づきのレベル、思考・行動の仕方を高めていくのです。それが適切なワークです。知識だけではエゴイズムを強め、その人はとても危険な人となります。経験を伴わない知識は必要ありません。同胞の人間を助けるために知識を実践しない人には、知識は必要ありません。

質問：それではこのメソッドは今生における自分自身を分析するために使われるのですか？

Ｋ：**もしあなたが現在をスタディーするなら、それは過去の全てをスタディーすることになります。現在のパーソナリティーにとって重要なことは、今、現在にあることです。永遠のアトムは全ての過去生に転生し、また現在のパーソナリティーに転生しています。**

質問：でも、今よりも過去の方が優れている人もいます。

Ｋ：あなたが得たものは、決して失われません。しかし、もしあなたが自己実現に到達し、特定の領域で助けを与えたい時、あなたは特別な現れのフィルターを用い、それらの人々と似通った思考・行動の仕方を用います。もしあなたがそれらの人々に働きかけて、助けたいのなら。

人々から受け入れられ、理解されるように、あなたはそのためのフィルターを使います。そして徐々に、少しずつ過去に獲得したレベルを表現するようになりますが、その場合でもその現れは表面に出てきて、そのフィルターを使うのです。キリストロゴス絶対存在ですら人間として現れなければならなかったのです。イエス・キリストロゴスはフィルターを使用せねばならなかったのです。主ですらそうなのです。イエス・キリストが若かった頃、フィルターを用いるのがとても困難でした。彼は１２歳になるまでエジプトの寺院のなかに滞在しなければならなかったのです。その後、彼はたくさんのフィルターを使いました…他の子供たちに受け入れられ、理解してもらうためです。そして一定の年齢に到達した時はじめて、より精妙なフィルターを使い始め、地上の人間に教えを説き、ガイドすることを始めたのです。しかしそれでも、どれほど多くの人が彼を理解したでしょうか？自己実現に到達した人には誰でもそのようなことが起きるのです。もし彼ら、啓発した人が現在のパーソナリティーの素質的可能性全てを完全に表現するなら、人々は彼らを理解できず、受け入れることができず、結果として（＊人々を助けるという仕事を）何も成し遂げることができません。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

EREVNA/SPA21.DOC/.K6/13

レッスン：SPA.NO.22

テーマ：感覚から超感覚/ピラミッド/部屋

SPA.22/DOC/K6.PYRM14/96

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供たち。私たち常に主、絶対、主の聖性によって抱かれています。

これまでのレッスンのなかで、真理の探究者にとって最も重要なワークは気づきを高めるようなワークだと言いました。そして気づきの上昇という時、それは思考・行動の仕方を意味します。それはサイキカル体およびノエティカル体と関係があり、一つになっているそれら二つの体です；現在のパーソナリティーには三つの体がありますが、現在のパーソナリティーの現れは実際にはこれら二つの体によるものです。

肉体の役目は何でしょうか？あなた方の大部分が知っているように、肉体はマインドの物質としてのバイブレーションによるものであり、それらのバイブレーションはマインドの中でも最も低次のバイブレーションです。それら物質のバイブレーションの中で、物質界のなかで自分自身を現すために私たちには肉体があるのです。初めて下降してサイコノエティカル界で二つの体だけを有していた時には生の特質を完全に現しており、意識には制限、限界がありませんでした。実際、サイコノエティカルなバイブレーションはそれらの限界の可能性を与えません。言い換えれば、意識とその現れを無知のなかに取り込むということがありません。そしてパーソナリティーが実存と現れの今のこれらのバイブレーションのなかに入ると、意識が制限のなかに入る結果として、その現れも制限のなかに取り込まれるのです。そうなると、現れは生それ自体の特質をもはや表現せず、現れは無知のなかにあります。ですから、肉体は現在のパーソナリティーに制限のなかに入る可能性、そして無知になかで自らを現す可能性を与えます。

そして私たちには三つの体があり、サイコノエティカル体は物質によって現在のパーソナリティーに与えられた可能性に従います。そして今や、二つの美しいサイコノエティカル体の代わりに、最初は不定形の体としての体を有するのです。というのも、結局、私たちの現れは肉体によってではなく、サイキカルおよびノエティカル体によって表現されるからです。肉体は意識が制限のなかで表現される可能性をもたらしますが、実際の現れはサイコノエティカル体によります。

私たちは三つの体における気づきの上昇に向けてワークをするのでしょうか、それとも二つの体だけでしょうか？どう思いますか？繰り返しますが、現れはサイコノエティカル体からです。私たちは物質的な実存を理解するためにまず一番低い所から、肉体からスタートする必要があります。肉体に関して多くのエクササイズをしますが、同時にそれらのエクササイズは探求者が他の諸体について認識することなしに提供されます。

現在のパーソナリティーの真の感覚はいわゆる超感覚であり、それはサイコノエティカル体の感覚であると述べました。しかし、ひとたびパーソナリティーが物質のなかに入るともはや現在のパーソナリティーはそれらの感覚を意識的に使うことがなくなり、私たちが知っている感覚を使うようになり、それは**生**の特質を表現する可能性をもたらしません。それらは多くのイリュージョンをもたらし、現れに多くの制限をもたらします。

そうです、それでも現在のパーソナリティーは五つの超感覚を使いますが、それら五つの超感覚を現在のパーソナリティーが意識して使うことはありません。例えば、私たちが考える時、パーソナリティーは五つの超感覚を使います。潜在意識から何かを表面にもたらす時も、五つの超感覚を使います。それら全てのステートにおいて過去の出来事を考える時、そのパーソナリティーは五つの超感覚を使っており、つい最近述べたように、気づきの上昇に向けてワークすると言うとき、実際それは五つの超感覚を使って自分自身をもっともっと意識的に表現する努力を意味します。

Page 2

さて、これら数年にわたって与えられたワーク、エーテルの特質をマスターするためのワークについてはどうでしょうか？前に述べたように、エーテルには四つの特質がありますが、真理の探究者は三つの特質だけを扱います。つまり、刻印エーテル、感覚エーテル、運動エーテルです。この種のワーク、それはどのような効果があるのでしょうか、これらのエーテルの特質をマスターすると何が出来るようになるのでしょうか？五つの超感覚を意識的に使えるようになります。それはつまり、不定形の諸体がきちんとした形を帯びるようになります。どの不定形な諸体でしょうか？サイコノエティカル体の体でしょうか？違います。現在のパーソナリティーの三つの不定形の諸体です。というのも、現在のパーソナリティーが制限、現れの制限のなかに入ると、肉体とは私たちが触わることのできるこの身体だけでなく、肉体は型の上に築かれています。いわゆる肉体のダブル・エーテリックです。それは勿論、完全な形をしていますが、しかし…ここに“しかし”という言葉が付きますが…このダブル・エーテリックは完全に充電されているわけではありません。充電されているのはハートのセンターの位置だけです。そこではサイキカルおよびノエティカルという他の二つの体のセンターと一緒にこのセンターを調整しています。

ですから、肉体はそのポジションでのみ活性化されており、肉体と言うときそれは肉体のダブル・エーテリックを意味します。そしてこれまで述べた様々なフォームによって気づきの上昇に向けたワークをするとき、五つの超感覚の表現に向けてエーテルの特質をマスターするためにワークをするとき、実際に私たちが行っているのは肉体のダブルエーテリックを充電しているのです。それに充電すると、徐々にゆっくりと充電は体全体に広がります。それはその体を再形成するかのようです…不定形の体を再形成するのと同じように。なぜなら、サイコノエティカル体は最初はハートのセンターで全く不定形だからです。ですから、肉体を通じてサイコノエティカル体が表現されます。もし私たちが肉体に関するワークをせずに他の二つの諸体の現れとしてのバイブレーションを上昇させようと試み、肉体のバイブレーションをずっと低いバイブレーションのままにしておくと、言い換えればその充電に関してですが、肉体は熱、エネルギーに耐えることができず、焼き切れてしまいます。

そのために、自分の可能性を超えた問題を解決しようとするときには、肉体の脳がオーバーヒートし始め、顔が赤くなり、通常その人は自らを守るために眠ってしまいます。なぜなら、その肉体が充電されているよりも遙かに高いバイブレーションの知識に同調しようとしているからです。それ故に私たちは何かを表現するために、ある種の仕事を現すために知識を経験する必要があるのです。これが事実なのです。私たちが何かを勉強すると、同時に私たちは肉体のダブルエーテリックにワークをしているのです。似通った充電がそれを通じて行われるように、私たちは充電するのです。

さて、パーソナリティーがその知識の現れのためにワークをしなくても、知識を現すことができるでしょうか？どう思いますか？以前から述べていることからすると、それは不可能に見えますが、どうでしょうか？しかし、それは可能なのです。気づきの上昇という結果がなくても知識を表現することはできます。そして過去に述べたように、それは汎宇宙的潜在意識との同調の結果として生じるのです…テクニカルな手段あるいは魔術によって。または他の方法によって…つまりどこからその知識が来るかを知らずに、そのパーソナリティーがエピグノシスとして静かな状態にあって知識を表現するとき。

通常、エピグノシスはインナーセルフから表現されますが、しかし今、その知識が現在のパーソナリティーによってどのように通訳されるかは全く別問題です。なぜなら、それは気づきのフィルターを通過するからです。真剣な真理の探究者である私たちにとって重要なことは、気づきの上昇の結果として表現されることは全て時間を通じてそのパーソナリティーがワークをしたものを意味するべきであり、経験と努力の結果であるべきだということです。これは重要なことです。さもないと、その現在のパーソナリティーの真の現れを示さない知識は非常に危険なものとなり、現在のパーソナリティー自身および他の人々を騙すことになります。

Page 3

ですから、私たちはもっと意識的に五つの超感覚（それはサイコノエティカル体の真の感覚）を表現するようにワークする必要があります。現在のパーソナリティーはそれをいつ達成するでしょうか？現在のパーソナリティーが肉体のなかにいる間に五つの超感覚を表現することが可能でしょうか？前に、物質は人が（＊無知の中に）取り込まれる可能性をもたらすと話しましたが、それは物質はその原因ではないということです。何が原因だと思いますか？

その原因は神の黙想のなかにあり、原因は神の計画なのです。私たちは物質を非難すべきではありません。人間が関わることのない物質は純粋です。しかし、物質は取り込みの可能性をもたらします。なぜでしょうか？なぜなら、物質は原因と結果の法則を管理しているアークエンジェルのオーダーの監督下にあるからです。それゆえに物質はそのような可能性を与え、現在のパーソナリティーは無知のなかに入り、私たちのイリュージョンがスタートするのです。その結果、現在のパーソナリティーは調和を失い、**バランスの法則**が働くようになるのです。

ですから、実際に**バランスの法則**は現在のパーソナリティーが克服不可能なものではありません。ここで先ほどの質問…現在のパーソナリティーが肉体のなかにいる間に五つの超感覚を使う事が出来るか否か…に戻りましょう。答えはイエスです。気づきを高め、不定形の諸体を本来の形に戻すことによって、その人は自分の夢をもっと意識的に生き、さらには夢のなかの出来事をコントロールできるようになり、過去の出来事（過去生ではなく今生での過去の出来事についてですが）にフォーカスし始め、それらを表面にもってきて分析するようになります。ですからその人は五つの超感覚をもっと意識的に使い始めるようになります。

それでは五つの超感覚の使用が完全になるのはいつでしょうか？前にも述べましたが、現在のパーソナリティーは不定形の諸体の形を本来の形に完全に戻し、最初の磔に到達する時に初めて自己実現を現すと述べましたね。五つの超感覚についてはどうでしょうか？それらは完全に表現されるのでしょうか、言い換えればその人は超感覚を完全に使うのでしょうか？あるいは、それ以前でも完全に使うことができるのでしょうか？答えは、もっと前に五つの超感覚を表現することができます。もっと前にとは、現在のパーソナリティーがサイキカル体を完全にマスターした時です。なぜなら、サイキカル体のコントロール、マスターはもっと前に完全になるからです。そうです、それはつまりノエティカル体の上昇はそれと調和して成長しない、ことを意味します。

以前のレッスンで、私たちは全ての諸体を調和的に成長させ、それらを一つに結びつける必要がある、と述べました。そうです、そう言いましたがそれはあるレベルまでということです。あるレベルまで行くとそこからは、サイキカル体はもっと急速に成長するようになります。サイキカル体はノエティカル体の支配下におかれます。というのも、ノエティカル体のバイブレーションはサイキカル体のバイブレーションよりも高いからです。ですから、ノエティカル体は今やもっと多くのワークを必要とします。**生命の木**には一番下の位置に四面ピラミッドがありますが、それは人間が無知のなかで立っている位置であり、人間はこれまで何回も述べたように上に上昇する必要があるのです。

まずピラミッドの下で、地面のなかで多くのワークをする必要があります。なぜなら、人間が本能的意識のセルフ・エピグノシスとして意識を現している間は、あるいは潜在意識的意識のセルフ・エピグノシスを現している間でさえ、人間は地面の中、土のなかにいるからです。人間は上に向けて移動し始める前に、四面ピラミッドのなかに立つためのワークをする必要があります。そして一生懸命にワークを行った結果として、サイコノエティカル体が成長した結果として人間がこのポジションに到達したとき、つまりサイキカル体をマスターしたとき、五つの超感覚はその人のものとなるのです。その時、その人は自分自身を五つの本当の感覚を使って現すようになります。しかし、そうなってもまだ完全な成長にはかなりの“距離”があります。

Page4

何を成長させる必要があるのでしょうか？いわゆる高次ノエティカル体です。なぜなら、ノエティカル体には一つではなく、二つのバイブレーションがあるからです。物質のバイブレーションをもつ肉体があり、超物質のバイブレーションをもつサイキカル体があり、サブスタンスのバイブレーションをもつノエティカル体があり、スーパーサブスタンスのバイブレーションをもつ高次ノエティカル体があります。スーパーサブスタンスのバイブレーションとはあらゆる天体がそのなかで泳いでいる海です。人間が高次ノエティカル体を使用するようになると、その人はいわゆるエクソマトシス現象を行うことが可能となります。つまり、肉体からサイコノエティカル体を切り離し、同時に高いバイブレーションのなかに低次のバイブレーションを同化させ、ノエティカル体はスパーサブスタンスのバイブレーションのなかに同化され、サイキカル体もまた同化されます。二つの低次のバイブレーションは実存のもっとも高いバイブレーションのなかに同化されるのです。その時、現在のパーソナリティーは他の惑星、他の太陽系、他の銀河を訪れることが可能となります。というのも、惑星間、他の天体間をつなぐのはスーパーサブスタンスの海のつながりを介してであり、それ以外にそれらをつなぐものはありません。高次ノエティカル体をマスターし、最初の磔に到達するまでは（それもまた現在のパーソナリティーの自己実現のポイントです）、誰も他の天体を訪れることができると主張することはできません。

ですからスーパーサブスタンスがありますが、しかし全体としての**マインド**が“役立つ”ためには他に何が必要でしょうか？マインドは他のものなしに現れにとって有用であることができるでしょうか？マインドにはそれを活性化する**生**の海、つまりエーテル・バイタリティーが必要です。エーテル・バイタリティーの大海なしではマインドは創造界で役立ちません。それゆえにいかなるマインドにも生があるのです。諸宇宙を、あらゆる天体を創造するためにマインドが形を帯びるためには、エーテル・バイタリティーがその役目を果たす必要があります。肉体に関しては；肉体はどのようにして築かれるのでしょうか？それはマインドのバイブレーションである四つのエレメント（それはマインドのより低いバイブレーションですが）を使用することによって築かれます。

誰が、あるいは何が物質を活性化するのでしょうか、そのパーソナリティーでしょうか？活性化させるのは人間ではなくてエーテル・バイタリティーとしてのエーテルです。実際、最初はそれは制限のなかにあります。というのも、それはそのパーソナリティーの現れによって影響をうけるからです。そうではないでしょうか？それは前に説明したとおりです。肉体のなかで私たちは何のワークをするのでしょうか？アークエンジェルについてのワークです。実際、身体を維持しているのはアークエンジェルの仕事であり、人間が身体の秩序を乱したり、地や土にフォーカスしている人間が体にダメージを与えるときには、いつでもアークエンジェルがそれを矯正し、治しています。無知のなかにいる間は、五感を使って自分自身を表現している間は、人間は身体の秩序を乱し、ダメージを与えるからです。そして人間の五感と言うとき、それらのバイブレーションのなかで五芒星は下向きになっています。下向きの五芒星は無知のシンボル、対立、二元性のシンボルであり、調和のなかではなくバランスの意味のなかにある現れを示します。

ですから、本来の感覚を現すためには、人間は五芒星を上向きにしなければなりません。現在のパーソナリティーの部屋のなかでのたくさんのワークが必要です。それは前に述べたように地面のなかで、その人が何であれ時間を通じて創造したもの、および諸宇宙のなかで人類が創造したものに囲まれながら行います。そして無知ゆえに創造したそれらすべてのものに向き合うためには、その人は多くのワークが必要です…それらの怪物に向き合うことができ、墓場である部屋を出て旅することができるようになるために。両脚で地表に立ち、もはや物質的なものにフォーカスせず、その人がつかむべき真の宝の方を向くことができるようにです。それらの宝物とは五つの真の感覚を使って自分自身を現すこと以外の何ものでもありません。私たちはたくさんのシンボルを提供しましたが、最も重要なのは四面ピラミッドのシンボルです。それは遺跡のピラミッドではありません。私たちはそのようなピラミッドを築くわけではありません。四面ピラミッドは人間に無知のなかに入り、個人として仕事を行い、創造界において、アウタルキーにおいて自己実現したモナドとなる可能性を与えます。残念ながら、過去に人間が現したものはこのリアリティーへの正しいアプローチではありませんでした。遺跡、モニュメントとしてのピラミッドは墓として使用されました…そのパーソナリティーが永遠にその現れを続けることができるようにです。何と共に？それらのモニュメントのなかにはファラオが埋葬されています。それらの国でファラオはどんな位置を占めていたでしょうか？彼らは国を支配しており、もしピラミッドのなかに埋葬されれば、永遠に支配し続けることができると考えていたのです。肉体さえも形を保つことができると思ったのです。それはイリュージョンです。

Page5

ですから真理の探究者にとって、ピラミッドはモニュメントではなく、それはイデア、法則なのです。それは現在のパーソナリティーがマスターすべきイデア、法則です。そのために現在のパーソナリティーが自己実現に到達したときには、その人はピラミッドの頂上に立ち、ピラミッドのポイントを完全なものとするのです。世界中で実際に目にするピラミッドですら完全ではありません。頂上のポイントが失われています。しかしファラオがしていたことは、魔術を使って現象を行うために頂上に立ったのです。なぜなら、それらの時代には魔術を通じて創造エーテルを使うことができたからです。今ではもはやそうではありませんが。創造エーテルを使用して彼らは今私たちが世界中で目にする巨大なモニュメントを築いたのです。

現代の人間の場合、現在のパーソナリティーの諸体をマスターするまではそれは不可能です。創造エーテルは他の三つの体をマスターした結果として加えられます。そうです、現在行うことのできる魔術はかつてこの地球上で使われた魔術のように高いものではありません。しかし、それは神の慈悲の結果です。なぜなら、その結果人間はもっと速く成長することができるからです。もし可能なら啓発に向けた直線からそれることなくまっすぐ進むことによって。多くのワーク、多くの忍耐が求められます。しかし、結局私たちの前には永遠があるのです。

私たちは主、絶対、主の聖性に抱かれています。

**質問**

質問：地面から出てきてピラミッドのなかに立つやいなや、地にフォーカスしなくなるということですが、それはもはや欲望的想念を創造しなくなるという意味ですか？

Ｋ：前に説明したように、人間が四面ピラミッドのなかに立つようになると、それはその人は意識的セルフ・エピグノシスを使って自分自身を現していることであり、現在のパーソナリティーとして意識的に生きていくことになります。様々な意識のセルフ・エピグノシスの形態があります…本能的意識のセルフ・エピグノシス、潜在的意識のセルフ・エピグノシス、意識的意識のセルフ・エピグノシス、そして超意識的意識のセルフ・エピグノシスです。（＊四面ピラミッドに立つようになると）その人は意識的意識のセルフ・エピグノシスと共に自分自身を現すようになりますが、しかしたくさんのワークがあります。繰り返しますが、真のワーク、探究者に直接実感できるような体験を与えるワークは四面ピラミッドのなかであり、その時初めて人間は完全にではありませんが、超意識的意識のセルフ・エピグノシスを現し始めます。その時初めて、人間はエゴの様々な側面を殺し始めるのです。それ以前ではありません。そして、そのワークは四面ピラミッドのなかで行われます。

質問：ハートのセンターは私たちの健康にどのような影響をもたらしますか？

Ｋ：私たちの健康状態はこのセンターの状態によります。このセンターの結果として、現在のパーソナリティーにアンバランスがもたらされます。このセンターの状態の結果として、肉体に現れるあらゆる病気が生じるのです。ストレス、不安その他現在のパーソナリティーに現れるあらゆる圧迫はエネルギーを燃やし、その結果肉体のダブル・エーテリックの充電が弱まります。それゆえに、肉体の様々な病気という現象が生じるのです。様々なウイルスが存在しますが、ダブル・エーテリックがそれらのウィルスと戦うことが出来ないとき、ウィルスは活性化するのです。それゆえに肉体の病気が生じるのであり、さもなければ完全に充電された肉体のダブル・エーテリックに対して、何ものもダメージを与えることはできません。

Page 6

肉体に影響があるとき、苦しむのはダブル・エーテリックなのです。人間に薬が与えられますが、その効果はダブル・エーテリックにもたらされます。なぜなら、様々な薬は特定の輝き、光を与え、その効果はダブル・エーテリックに生じるからです。勿論、普通の医学はそれを知りません。彼らは実験の結果、この種の薬はあれ、またはこの病気に効果があると結論づけます。実験によってそのような知識を得ます。しかし、薬が実際にどこに働き、どのようにして効果をもたらすのかを彼らは知っていません。それゆえにヒーリングのワーク、時にサイキカルまたはスピリチュアルなヒーリングの方がより大きな効果をもたらすのです。なぜならサイキカルなヒーラー、またはスピリチュアルなヒーラーはどのように働いていて、何が必要かを知っているからです。勿論、結果はヒーラー次第ではなく、原因・結果の法則次第であり、神の慈悲によるものです。しかし、とにかくヒーラーは完全な治癒のために必要なことを行います；それが完治するかどうか、それはヒーラーによるものではありません。

質問：ダブル・エーテリックは完全に充電されるのですか？

Ｋ：完全に充電と言うとき、（それは法則の結果としてそのパーソナリティーが病気になる必要がある場合を除いて）いかなる病気も物質に影響を与えることのできない状態を意味します。ですから、人は静けさを保ち、いかなるストレスをも被らないようにし、どんな“困難”をもスマイルをもって対処するようにすべきです。残念ながら、人々は笑顔を浮かべている人は真剣にやっていないと考えがちです。スマイルのある顔は健康を意味します。

質問：そうです、私は自己燃焼について尋ねたいのです。椅子に座っていて、突然内側から外側へ燃え立つ人がいますが、実際に何が起きているのでしょうか…。

Ｋ：エネルギーが燃えているのです。それが起きているのです。人がストレス下にあるとき…（私は強迫観念とは言いません。なぜならその状態はもっと悪いからです）…強迫観念、妄念も一般的です。

質問：でもどの程度まで人々は自分自身を燃やすのですか？

Ｋ：どの程度まで？その人が被っている経験の程度によってエネルギーを燃やしています。

質問：人々はそのために死にます。彼らは燃えて、ただ死ぬだけです。あまりに熱くなるので、死んでも骨がありません。燃やしてしまうのです。

Ｋ：それは別の問題です。それはなぜなら、気づきを上昇させることなしに創造エーテルを活性化させようとするからです。残念ながら、そのような“不幸な”経験をする人々、それは彼らの問題なのでそうなるのです。彼らはワークを試みたのですが、真剣な真面目なワークではありません。現代ですら、いわゆるクンダリーニを活性化するためのさまざまなメソッドがあります。その種のワークは現在のパーソナリティーにとって非常に危険であり、不幸な結果をもたらすことがあります。なぜなら、前に述べたように、それは多くのイリュージョンをもたらし、そのパーソナリティーは何かを獲得する代わりに多くを失います。そしてあなたが話したような現象も起きますが、それは非常に稀な現象です。エネルギーがそれ自身を放出する道を見いだすことができず（一般にその道は人々が考えるような上への道ではなく、下方への道なのですが）、エネルギーがそれ自身を放出する道を見いだすことがないとき、そのように肉体が完全に分解してしまう現象が生じます。

EREVNA/SPA22/DOC/K6/14/96